

①	基本的な記事の書き方や見出しの書き方など普段学ぶ機会が少ないことをその分野のプロの方に教わったので、しっかり部活動内で活かしていきたいと感じました。
②	今回の神戸新聞社の勉強会の感想としては私は将来、新聞記者になりたいので今回の三好記者のプレゼンを聞いて記者になるためのスキルをたくさん教え頂き本当に自分の為になりました。前回は私は参加しましたが、インタビュー記事以外の記事の書き方など、前回とは異なる文体が求められる記事の書き方を初めて知ることが出来たので、とても勉強会自体がとても新鮮に感じられました。
③	記事の書き方を改めて学ぶことができ勉強になりました。次回の取材から早速実践したいと思いました。見出しを考えるのが苦手なので、どうすれば端的に内容が伝えられるかしっかり考えようと思いました。
④	具体例などを挙げて、分かりやすく説明していただき、とても面白かったです。また、教えてくださった内容が初めて知ったことが多く、とても勉強になりました。この勉強会で学んだことを今後の活動に活かしていきたいです。有意義な勉強会を開催していただき、ありがとうございました。
⑤	今回の勉強会を通して、新聞の持つ影響力の大きさや重要な役割、やりがいなどを知ることができて非常に有意義な時間だった。新聞の構成のしかたなど知らなかったことが多くて勉強になった。記事を見てそれに見出しをつけるというのが思ったよりも難しかったが、シンプルなもの伝わりやすいことに気づいた。まだ入部したばかりで分からないことは多いが、この勉強会で新聞について少しは知識がついたような気がした。
⑥	私が今回と前回の勉強会の中で一番印象に残っているのは、号外についての話です。ネットニュースなどの台頭により、新聞の需要が減少している中で、速報性の高い情報を正確に伝達できる号外という文化の価値を今一度再確認ができました。その他にも新聞を作成する上で、レイアウトや表現、さらには写真の撮り方においても、多くの要素の上で成り立っているのだと学んだことで、記事の内容だけでなく、段落構成や表現方法などの多くの視点から新聞を楽しむことができるようになりました。
⑦	レイアウトについてのお話が勉強になった。当部の新聞のレイアウトは縦書き記事ばかりだが、メリハリをつけバランスをとるために横書き記事も取り入れていきたいと思った。
⑧	昨年も勉強会に参加していたためしっかりと復習することで初心を思い出すことができたかなと思います。
⑨	記事の書き方の基本を改めて再確認できた。 今日学んだことを基に新聞をもっと充実したものにできるよう頑張っていきたい。
⑩	私は勉強会で記事の書き方を学びました。5W1Hや主語と述語を近づけて読者が分かりやすくするといったような記事を書く上で基本の大切なことを改めて確認できました。勉強会で知れた知識をフルに活用してこれから読者に有益な情報を伝えていきたいと思います。
⑪	この度の勉強会で学ばせて頂いたことは新聞は見出しから何が言いたいかわかるようにするために、数字や色、形を入れた方がいいということです。コレが僕の中で1番印象に残りました。ですので早速温水プール開放の記事のタイトルに「6月の」という数字をわざわざ入れてみたところ私の感想ですが読み手に興味を持たせやすくしているように思えました。また文章に豊かさを入れるためにディテールを入れるというのも早速記事作成に採用した神戸新聞勉強会で学んだ技術のひとつです。取材相手の方は淡々と話される方でしたのでわざわざ「冷静に語った」と付け加えてみると文章から情景がより詳しく伝わってきた気がしました。このような技術を知れた事はとても大きなことだと思います。今後これらの技術を活用して記事を作りたいと思います。ありがとうございました。